

(第1-1号様式)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 28日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 奈良県吉野郡大淀町桧垣本1589番地

氏 名 株式会社 森下組
代表取締役社長 森下秀城

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0747-52-3535

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 森下組
事業場の所在地	奈良県吉野郡大淀町桧垣本1589番地
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 70億円
③ 従業員数	73人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	(解体工事) ・がれき類→再生処分業者に委託→ 再生資源化 ・混合物→中間・最終処分業者に委託→ 埋立処理 ・金属くず→再生処分業者に委託→ 再生資源化 (基礎工事) ・汚 泥→再生処分業者に委託→ 再生資源化 (建築工事) ・がれき類→再生処分業者に委託→ 再生採石として再生資源化

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図)	
本社 ↓ 工務部 (建築部・土木部 産廃処理管理責任者) ↓ 工事現場管理責任者 (工事長) ↓ 工事現場産廃処理管理責任者 (現場産廃処理管理担当係員)	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度 (令和 4 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排出量	10 t	1.7 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	排出量	13.6 t	523.54 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス・コンクリ・陶磁器くず類
	排出量	0 t	106.5 t
	産業廃棄物の種類	がれき類	混合廃棄物
	排出量	4399.97 t	427.2 t
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	
	排出量	20.02 t	t
(これまでに実施した取組) 梱包材・包装材の削減 (出荷時に簡易梱包・包装の依頼) 型枠工事の再利用可能建材 (鋼製・FRP材) での施工による廃材の削減			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排出量	9 t	1 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	排出量	12 t	500 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス・コンクリ・陶磁器くず類
	排出量	0 t	100 t
	産業廃棄物の種類	がれき類	混合廃棄物
	排出量	4300 t	400 t
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	
	排出量	15 t	t
(今後実施する予定の取組) 工法の改善による産廃発生量の削減			

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類・金属くず・紙・段ボールくず→再生可能廃材 その他 (混合物) →その他処分 として分別・保管
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 継続・現状維持

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
	型枠材・鋼材の再利用		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		
	再生可能材料及び資材への工法・材質変更の検討		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
特に実施していない。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		
実施する予定はない。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項							
①現状	【前年度（令和 4年度）実績】						
	産業廃棄物の種類						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t				t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t				t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。						
産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
①現状	【前年度（令和 4年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス・コンクリ・陶磁器くず類
	全処理委託量	10	1.7	13.6	523.54	0	106.5
	優良認定処理業者への処理委託量	10		8	4		106.5
	再生利用業者への処理委託量	10		8	523.54		
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						
	産業廃棄物の種類	がれき類	混合廃棄物	管理型混合廃棄物			
	全処理委託量	4399.97	427.2	20.02			
	優良認定処理業者への処理委託量	178	368.8	20.02			
	再生利用業者への処理委託量	4216.97	395.88				
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						
(これまでに実施した取組) 現場内からの廃材を分別し、再利用業者への処理委託を行い最終処分量を削減する。							

		【目標】						
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス・コンクリ・陶磁器くず類
②計画	全処理委託量	9	1	12	500	0	100	
	優良認定処理業者への処理委託量	9	1	12	200		100	
	再生利用業者への処理委託量	9		12	500		100	
	認定熱回収業者への処理委託量							
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量							
	産業廃棄物の種類	がれき類	混合廃棄物	管理型混合廃棄物	/	/	/	
	全処理委託量	4300	400	15				
	優良認定処理業者への処理委託量	2000	300	15				
	再生利用業者への処理委託量	4300	400					
	認定熱回収業者への処理委託量							
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量							
	(今後実施する予定の取組)							
	優良認定処理業者への委託							
	※事務処理欄							